

日々新聞

其今嵐璃寛なる人元父嚴綱へ奉養厚きやゆへ當年
 其十三田忌の正當なるを以則ち元父江追善の爲に雲
 雀山中將姫の演劇と角の戲場に於て
 相勤めし實や此姫君の行狀に深に綱両
 親御孝美深くして母母の母母と
 表き下辛が苦を嘗て竟に昔昔提の
 要路に歸入し給ひたる日本無双の賢女
 るれば今亦兼村屋に入るの條と慕ふて
 勤むる他何れも姫の至孝の習ひ
 實に文明開化孝順の一端を

一月前と
 日数百の
 二千。五十六軒

四月十三日
 日数百の
 三千五百十五軒

仙名系画

中将殿
 心同様に

海正板

